

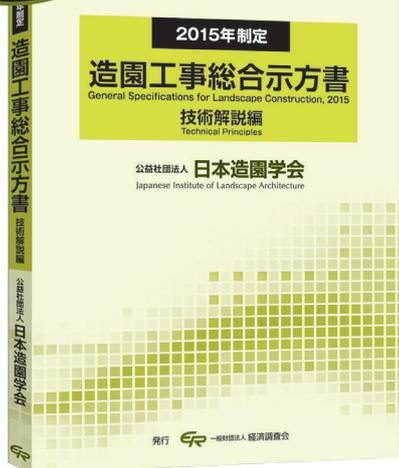
2015年  
制定

# 造園工事総合示方書

General Specifications for Landscape Construction, 2015  
Technical Principles

## 技術解説編

NEW



造園工事における技術的な基準や手法を示すとともに  
計画から維持管理までの連携のありかたを示す

造園の及ぼす修景効果にとどまらず、防災、生物多様性の再生・保全や都市部の温熱環境緩和などの技術的な対応についても言及

ジャンルごとに経験と実績を兼ね備えた専門家が解説

造園に携わる全ての人に向けた実践的な書

公益社団法人 日本造園学会 編著

一般財団法人 経済調査会 発行

B5判 約230頁 定価4,860円(本体4,500円+税)

2015年  
5月下旬  
発行

この示方書の内容は極めて実践的でありつつも、今日的な社会的要請に対応できる内容を有しており、また執筆陣も造園工事に関わる様々な実務において、長い経験と実績を有する専門家によって構成されている。造園の計画・設計から施工、維持管理に至るプロセスのあらゆる局面において、この示方書の内容は最も基本的なレファレンスとして機能することができるであろう(中略) 書棚の一隅を占める存在にとどまることなく、造園工事を発注する事業者、計画や設計に携わる設計者、あるいは工事計画を立案する施工者のオフィスの卓上に置かれること、工事が進む現場の管理事務所に常備されていること、更には、工事の現場において設計監理、施工管理に携わる多くの造園技術者が常に携帯しているものであってほしいと願っている。(「本書の内容と構成」より抜粋)



### 目次(予定)

#### I部 共通

- 1章 示方書の適用範囲/2章 字句の意味
- 3章 設計と施工/4章 施工と維持管理

#### II部 施工技術

- 1章 土工事/2章 植栽工事/3章 緑地育成
- 4章 施設工事

#### III部 統合技術

- 1章 修景効果の向上/2章 防災機能の向上
- 3章 生物多様性の保全/4章 温熱環境の緩和
- 5章 安全・安心/6章 循環型社会の形成
- 7章 ユニバーサルデザインと癒しの空間
- 8章 協働による造園空間づくりへの対応

#### IV部 資料

- 1章 造園施設における材料の特性
- 2章 材料別の性質と劣化傾向/3章 塗装と塗料

#### I部 共通

造園工事の範囲や工種にとどまらず、「設計と施工の連携」や「施工と維持管理の連携」について、従来の枠を越え記述

#### II部 施工技術

造園工事に固有の工種や施工方法等に絞って深く記述。関連する建設工事技術との差異を明確にしつつ、それらとの実効的な連携のありかたにも言及。また造園工事においてももっとも重視される植物的な自然とそれを支える環境を持続可能な状態に育成していくための「管理技術(緑化育成)」についても記載

#### III部 統合技術

修景効果に加えて、防災機能の向上、生物多様性の保全再生、都市部における温熱環境の緩和、ユニバーサルデザインへの対応等、今日的な課題に対する技術的な対応について記述

#### IV部 資料

造園工事に関連し、公園施設等で使用される材料と塗装の性質について収録

